

提携先	(農)会田共同養鶏組合	記入日	2008/8/25
登録消費材名	鶏卵 10K g 7K g 10個パック		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

ゆうきの里づくりを提唱し、環境を重視した循環型社会形成を目指している
 地域内畜産農家が共同で糞尿処理施設を行政に設置させ、地域内家庭の生ゴミも完全に堆肥化している。
 有機栽培農家の組織を作り 86 名の会員（うち有機 J A S 会員 14 名）という組織により
 耕畜家庭連合の有機のふる里作りを目指している。
 地球温暖化を肌で感じるようになり長野県でも冷涼地だったが、近年では日中最高気温
 36 度を記録するようになり卵の生産、卵質に影響がでてきている。本年はこの経験からデ
 ザートクーラー・スプリンクラー・換気扇などを設置し改善に務めた。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

鶏舎周りの散水や鶏舎内の換気、扇風機を使用したり、本年も 36 度が 2 日 35 度が
 11 日他 34 度と熱暑が続いたが昨年の対策で鶏舎環境は辛うじて維持できた。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

飼料価格の値上りは生産を脅かしている。国産飼料を生産する計画を立て、県・農協・
 農家・当組合で国産飼料資源活用促進総合対策事業「飼料用水導入定着化緊急対策事業協
 議会」を作り栽培給与の実証試験に入った。当年度 100a であるが栽培農家を組織し、鶏ふ
 ん堆肥を含め循環農業を確立していく。